

瞳が緑に染まる、ぎふ。



インターネットでの情報提供	
提供予定日	10月29日

平成21年10月28日 県政記者クラブ・都道府県記者クラブ同時配布資料		
担当課	担当者	電話番号
(財)岐阜県産業経済振興センター	川本 敏	058-277-1081
付知木工産地プロジェクト代表 新井製材所代表	新井 清人	0573-82-2566

デザインセンターオリベ想創塾事業・付知木工産地プロジェクト(Asahinekoプロジェクト)

～新商品発表展示商談会及びトークショー開催のご案内～

岐阜県及び県産業経済振興センター・デザインセンターにおいては、県内の地場製品の振興のため、地元メーカーとデザイナー等との連携を通じて新たな商品開発や販路開拓を行う「オリベ想創塾」事業を行っています。

このたび、平成20年度の同事業において商品開発支援を行った3つの産地ブランド化プロジェクトのうち、「付知木工産地プロジェクト(通称: asahineko プロジェクト)」の新商品が完成し、10月29日から31日の間、都内で発表展示商談会を開催します。また、中日にあたる10月30日に、新商品開発関係者によるトークショーも開催されることになりましたので、ご案内します。

記

1 新商品発表展示商談会の概要

- (1) 会期 平成21年10月29日(木)～10月31日(土) 11時～21時
- (2) 会場 東京ミッドタウン内インテリアスタイルショップ^{ジカバネニッポン}「The Cover Nippon」
(東京都港区赤坂9-7-3 東京ミッドタウン ガレリア3F E0305 TEL03-5413-0658)
- (3) 主催 メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株) <「The Cover Nippon」の運営会社>
付知木工産地プロジェクト
- (4) 商品 木曾五木(あすなろ、さわら、ひのき、ねずこ、こうやまき)を活用した「男の台所道具」
(詳細は別添商品チラシ参照)
コースター、ワインクーラー、米櫃、トレイ、箸置き、調味料ボックス、小テーブル、
ブラシなど合計20アイテム
- (5) 販売 発表会后、次の方法で販売を開始。
 - ①「The Cover Nippon」での常設販売
 - ②都内のセレクトショップ、デザインショップでの販売(随時販売開始)
 - ③県内土産店など既存販売ルートの活用

* asahineko とは木曾五木である「あすなろ」「さわら」「ひのき」「ねずこ」「こうやまき」の頭文字をとって命名。

2. 新商品トークショーの概要

- (1) 日時 平成21年10月30日(金) 16:00~17:30
- (2) 会場 東京ミッドタウン内 カンファレンスルーム5-6
- (3) 主催 メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株) <「The Cover Nippon」の運営会社>
- (4) 対象 メーカー、デザイナー、マスコミ、流通関係者など約100名
- (5) テーマ 夢をカタチにするデザイン(現代のモノづくりに必要なデザインとは)
- (6) 目的 産地メーカー、デザイナー、ショップが一体となった付知木工産地プロジェクトをモデルケースとして、これからの日本製品のモノづくりとデザイン、流通のあり方を検証するとともに、開発した新商品を広くアピールし販売促進を図る。
- (7) 参加料 無料
- (8) キャスト
 - 【コーディネーター】下川一哉(日経BP社 日経デザイン編集長)
 - 【ホーネリスト】小泉 誠(付知木工産地プロジェクトの参加デザイナー)
 - 村澤一晃(付知木工産地プロジェクトの参加デザイナー)
 - 新井清人(付知木工産地プロジェクト代表、新井製材所代表)
 - 赤瀬造成(メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株)代表取締役社長)
- (9) 申込 メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株)のホームページ(<http://www.mijp.co.jp/>)より事前申込み

3 付知木工産地プロジェクト(asahinekoプロジェクト)について

(1) 概要

- ・伊勢神宮式年遷宮のご神木の里として知られる中津川市付知町では、江戸時代より保護樹木として大切に育てられてきた針葉樹「木曾五木」を使い分けて、まな板やお櫃、しゃもじなどの食生活にまつわる道具を生産してきた。
- ・事業の継承を目指す産地の有志企業5社が、県産業経済振興センター・デザインセンターが実施する実践的な商品開発支援事業「オリベ想創塾」への参加を通じて、商品開発プロジェクトを組織化。
- ・木曾五木ならではの木の特性と引き継がれた木工技術を活かし、日本有数の木工デザイナーやインテリアライフスタイルショップ経営者と協働して、現代の生活に合う新商品の開発を進めてきた。その第一弾として「男の台所道具」をコンセプトとした20アイテムを発表するに至った。

(2) 参加者

①メーカー

新井製材所、早川木工所、(有) 然、(有) 内木^{ザン}木工所、(有) 田口木工

②デザイナー

小泉 誠：1960年生まれ。デザイナーの原兆英・原成光両氏に師事した後、1990年コイズミスタジオ設立。箸置きから建築まで生活に関わる全てのデザインを手がける。2003年にデザインを伝える場として東京国立市に「こいずみ道具店」を開きリアルなデザイン活動を展開している。

村澤一晃：1965年生まれ。ICSカレッジオブアーツ卒業。垂水健三デザイン事務所を経て89年にイタリア留学。90年よりセルジオ・カトロニデザイン事務所に勤務。家具デザイン・展示会場会場デザインを中心に担当。94年にムラサワデザイン設立。机で図面を描くのがデザインではないとして、国内外100以上の工場を歩き回った股旅デザイナー。

③プランナー

赤瀬浩成：メイド・イン・ジャパン・プロジェクト（株）代表取締役社長 岡山県出身
婚礼筆筒メーカーの2代目として生まれ、約20年間の家業経営で婚礼ダンスメーカーから日本でも有数の総合家具メーカーに育て上げる。また同時期にインテリアショップの経営も手がけ、12店舗を擁する企業に成長。現在は弟に社長の座を譲り、自ら設立したメイド・イン・ジャパン・プロジェクトの運営に尽力している。

(3) 今後の活動計画

経済産業省の平成21年度「JAPANブランド育成支援事業（戦略策定支援事業）」への採択が決定（10月20日）し、NPO法人メイド・イン・ジャパン・プロジェクトをプロデューサー役として、欧州市場をターゲットとしたブランディング戦略の策定を行っていく計画である。

* 「JAPANブランド育成支援事業」

経済産業省が平成16年度からスタートした事業で、地域産品の輸出を促進するため、世界に通用する地域産品のブランド力（「JAPANブランド」）の確立を目指し、地域の小規模事業者等と外部から招聘したプロデューサー等が一丸となって行う取り組みを支援するもの。

4 「オリベ想創塾」事業について

(1) 目的

- ・実践的なデザイン商品開発を通じて、地場産品のブランド育成と企業内の人材育成を支援。

(2) 概要

- ・県内各企業及び産地グループと、県産業経済振興センター・デザインセンターがプロジェクトチームを結成し、プロジェクトの目的を設定したうえで、専門家（プランナー・デザイナー）がサポートに加わり、約6～9ヶ月にわたる「商品開発講座」を実施するもの。
- ・産地グループと実施する産地プロジェクトでは、産地組合等の複数企業が連携し、メッセージ性の高い商品づくりと販売戦略を実践することで、産地のブランド化を目指す。
- ・平成20年度は「美濃和紙産地プロジェクト」、「付知木工産地プロジェクト」、「飛騨春慶産地プロジェクト」の3事業を実施。

(3) 県の関与

- ・県の補助金を財源に実施（平成21年度：14,117千円、平成20年度：42,828千円）
- ・県職員派遣2名（県産業経済振興センター）

(4) 今後の産地プロジェクトの新商品発表予定

【飛騨春慶産地プロジェクト】

会期：平成21年12月27日（日）～平成22年1月25日（月） <予定>

会場：銀座松屋百貨店デザインギャラリー

（東京都中央区銀座3丁目6-1 銀座松屋百貨店7F）

商品：日本文化の基本的しつらえ「汁椀」「お箸」「お盆」を飛騨春慶で製作し、美濃焼の「飯茶碗」を見立てたセット商品。

以 上